

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

|            |            |            |      |     |
|------------|------------|------------|------|-----|
| ※受理番号      | 学校         | 教科         | 種目   | 学年  |
| 26-70      | 中学校        | 保健体育       | 保健体育 | 1-3 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名      |      |     |
| 2 東書       | 保体 725     | 新編 新しい保健体育 |      |     |

## 1 編修の趣旨及び留意点

個人生活における健康・安全に関する知識を確実に習得できるようにするとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくために必要な思考力・判断力を育成できるようにしました。また、運動に関する知識を確実に習得できるようにするとともに、生涯を通じて運動に親しんでいくために必要な習慣や、意欲、能力を育成できるようにしました。

## 2 編修の基本方針

- 学習への関心・意欲を高める活動を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。
- 学習の内容と流れがわかりやすい紙面構成を工夫するとともに、資料を充実させ、健康や安全に関する内容を科学的に理解、習得できるようにしました。
- 習得した知識を活用する学習活動の場を設け、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしました。
- 生涯にわたって運動に親しみ、健康を保持増進していくための意志決定や行動選択を行える実践力を育成することができるようにしました。

## 3 対照表

### 【全体について】

- 必要な知識が確実に身に付く紙面構成にするとともに、習得した知識を活用する学習活動「考えてみよう」を設けました。また、各章末には「章末資料」を設け、より幅広い知識と教養が身に付くようにしました。さらに、各章末には「確認の問題」「活用の問題」「学習のまとめ」を設け、確かな知識の習得と活用に資するようにしました。(第1号)
- 学習活動「生かそう」では、自分の住む地域について調べる活動を取り上げ、健康や安全、スポーツなどの面からも地域、郷土に関心が持てるように配慮しました。(第5号)

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色  | 該当箇所                                      |
|----------|--|---|
| 口絵       | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「スポーツの力」では、世界で活躍するスポーツ選手や日本の伝統スポーツの発信、スポーツを通じた地域交流、震災復興を扱いました。また、2020年東京オリンピックに向けて、中学生が期待を持てるような内容を取り上げました。(第5号)</li> <li>◆「スポーツを支える人」「健康や安全を支える人」では、働く人の姿を紹介し、勤労を重んずる態度を養うことはもとより、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することに資するようにしました。(第2号)</li> <li>◆「運動やスポーツと食事」では、「運動と食事」に関する正しい知識を身に付け、健康やかな身体を養うために「適度な運動と食事」が必要であることを理解できるようにしました。(第1号)</li> </ul> | <p>口絵 1-2</p> <p>口絵 3-6</p> <p>口絵 7-8</p> |

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色   | 該当箇所                              |
|----------|---|-----------------------------------|
| 1年       | 保健編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆保健編1章では、男女の生殖機能の成熟について科学的に正しく理解し、異性を尊重し、適切な行動選択ができるようにしました。また、心の健康の学習では、欲求やストレスへの具体的な対処方法を多く示し、家族や友達と関わりながら社会性を発達させることができるようにしました。(第3号)</li> <li>◆保健編1章の章末資料には、「胎児を育てる母体の神秘」「あなたの生きようとする力」「立ち向かわなくていい」を掲載し、生命の尊さ、自分の大切さを実感できるようにしました。(第4号)</li> </ul> | 10-15, 20-27ページ<br>28-29ページ       |
|          | 体育編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体育編1章では、「運動やスポーツの多様性」を主題に、運動やスポーツの必要性などについての知識を身に付け、健やかな身体を養うための運動やスポーツへの関わり方や学び方を理解できるようにしました。(第1号)</li> </ul>   | 34-42ページ                          |
| 2年       | 保健編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆保健編2章では、「健康と環境」を主題に、健康のためにも空気や水、廃棄物などを衛生的に処理することが大切であることが理解できるようにしました。(第4号)</li> <li>◆保健編3章では、「傷害の防止」を主題に、交通事故や犯罪被害、自然災害による傷害を予防し、安全に生活する態度が養えるようにしました。(第4号)</li> </ul>   | 46-59ページ<br>64-89ページ              |
|          | 体育編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体育編2章では、「運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果」を取り上げ、公共の精神に基づき、ルールやマナーを尊重することの大切さを理解できるようにしました。(第3号)</li> </ul>  | 96-97ページ                          |
| 3年       | 保健編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆保健編4章では、喫煙、飲酒、薬物乱用の害を取扱い、正義と責任について考えられるようにしました。また、「保健・医療機関の利用」「個人の健康を守る社会の取り組み」など社会の活動を取り上げることで、社会の中で自他の協力を重んじながら、人々の健康が守られていることがわかるようにしました。(第3号)</li> </ul>  | 122-131, 140-141, 144-145, 147ページ |
|          | 体育編 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体育編3章では、「文化としてのスポーツの意義」を主題に、国際的なスポーツ大会が国際親善や国際平和に寄与していることや、スポーツが多様な人々を結びつけることなどを扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号)</li> </ul>   | 156-163ページ                        |

## 4 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

| 項目                                | 特に意を用いた点   | 具体例  |
|-----------------------------------|--|--|
| 学習指導要領の目標との関連<br>小・中・高等学校を通じての系統性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習指導要領改訂の趣旨に示された保健体育の内容の体系化に対応し、各章扉では、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを明示しました。</li> <li>◆小学校での学習を振り返る活動を、随所に入れました。</li> </ul> | 5, 33, 45, 63ページなど(小学校では体育理論を扱わないため、体育編章扉は中・高関連)<br>6, 16, 20ページ「今日の学習」、10, 122ページ「やってみよう」、70, 110ページ(キャラクターの吹き出し)など |
|                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆教科書内の他ページとの関連を示す「リンクマーク」を随所に入れ、学習を関連付けて扱えるようにしました。</li> <li>◆教科書の構成を学年別の構成とし、各学年の学習内容が明確にわかるようにしました。</li> </ul>              | 6, 14, 28, 101ページなど<br>目次など  |
| 体育分野・保健分野の関連と各学年の内容               |  |  |

学習指導要領の目標との関連

| 項目                 | 特に意を用いた点  | 具体例  |
|--------------------|---|--|
| 思考力・判断力などの資質・能力の育成 | ◆本文ページでは、知識の習得を重視するとともに、習得した知識を活用する学習活動「考えてみよう」を設け、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。  | 25, 37, 53, 75, 97 ページなど   |
| 心と体の関わり            | ◆教科の目標である「心と体を一体としてとらえ」に対応し、保健編1章「心と体の関わり」、体育編「運動やスポーツが心身に及ぼす効果」をそれぞれ1単位時間で扱い、心と体の関わりを科学的に理解できるような資料を掲載しました。            | 20-21, 94-95 ページ   |
| 運動や健康・安全に関する科学的な理解 | ◆運動や健康・安全に関する内容を、現象のみでなく科学的に理解させるために必要な資料を、豊富に掲載しました。   | 17, 21, 48, 58, 67, 102, 122-123 ページなど                                     |
| 知識を活用する学習活動        | ◆知識を活用する学習活動「考えてみよう」を随所に設けました。<br>◆各章末に「活用の問題」を設けました。   | 15, 39, 51, 67, 159 ページなど<br>31, 61, 91, 153 ページなど                         |
| 健康・安全に関する個人生活との関わり | ◆学習指導要領改訂の趣旨に示された保健の内容の体系化（「小学校：身近な生活」「中学校：個人生活」「高校：個人及び社会生活」）に対応し、「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」などの活動では、個人生活における課題を中心に取り上げました。 | 15 ページ「考えてみよう」、74 ページ「やってみよう」、75 ページ「生かそう」、115 ページ「生かそう」、160 ページ「やってみよう」など |

内容の選択・扱い

| 項目            | 特に意を用いた点  | 具体例   |
|---------------|---|---|
| 学習課題の把握       | ◆1 見開き（1 単位時間）の導入には「今日の学習」を設け、課題をつかみ、学習の見通しをもつことができるようにしました。<br>◆「やってみよう」では、課題につながる学習活動を行い、キャラクターの吹き出し文で思考を導くヒントやポイントなどを示しました。  | 全体<br>6, 10, 48, 68, 96, 114 ページなど  |
| 関心・意欲を高める工夫   | ◆巻頭に「この教科書の使い方」を設け、教科書の構成を理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにしました。<br>◆1 見開き（1 単位時間）の導入には、学習の見通しをもたせる「今日の学習」と、関心・意欲を高める学習活動「やってみよう」を設けました。   | 口絵 9-1 ページ<br>全体  |
| 基礎的・基本的な知識の習得 | ◆学習指導要領に示された基礎的・基本的な事項は、本文で、もれなく簡潔にまとめました。<br>◆1 見開き（1 単位時間）の学習におけるキーワードをチェック欄とともに示し、巻末にそれら全ての解説を入れました。<br>◆各章末に「確認の問題」を設け、知識の習得を確認できるようにしました。<br>◆各章末に「学習を振り返ろう」を設け、学習の理解度を自己評価できるようにしました。 | 全体<br>165-169 ページ<br>30, 43, 60, 90, 107, 150, 164 ページ<br>32, 43, 62, 92, 107, 153, 164 ページ |
| 言語活動の充実       | ◆巻頭に「保健体育の学習方法」を設け、学習指導要領解説書に示された指導方法の工夫を中心として、「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」「インタビュー」などの学習方法を紹介し、本文ページでもそれらの学習方法を取り上げました。   | 2-3 ページ, 22 ページ「やってみよう」、131 ページ「考えてみよう」など   |

| 項目         | 特に意を用いた点   | 具体例   |
|------------|--|---|
| 言語活動の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆本文ページの「やってみよう」「考えてみよう」では、自分の意見をまとめて発表したり、話し合ったり、記述したりする活動を多く取り上げました。</li> <li>◆書籍や新聞に掲載された文章を引用し、読解させる活動を取り上げました。</li> </ul>             | <p>13, 24, 25, 27, 75, 110, 159 ページなど</p> <p>14, 29, 72, 128, 135 ページなど</p>   |
| 日常生活とのつながり | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1 見開き（1 単位時間）の最後に「生かそう」を設け、学習したことを自分の生活に生かしたり、さらに調べたりする活動例を示しました。</li> <li>◆各章末に「日常生活に生かそう」を設け、学習したことを日常生活に生かす動機づけとなるようにしました。</li> </ul> | <p>23, 37, 49, 51, 69, 71, 75, 99, 141, 161 ページなど</p> <p>32, 43, 62, 92, 107, 154, 164 ページなど</p>                            |
| 今日的課題への対応  |  |   |
| 【防災】       | 主体的に判断・行動し、自然災害から命を守る生徒の育成を目指し、内容を充実させました（3 単位時間）。また、章末資料でも関連する資料を掲載しました。  | 72-77, 87-89 ページ  |
| 【犯罪被害】     | 犯罪被害が多発する社会状況をふまえて、「犯罪被害の防止」の内容を充実させました（1 単位時間）。   | 70-71 ページ   |
| 【心の健康】     | 思春期における心の健康づくりを重要な課題と捉え、「心の健康」を 12 ページで扱いました。道徳教育との関連を図りながら、心の働き、社会性、自己形成、欲求、ストレスなどについて、科学的に学習することができるようにしました。また、実践に役立つ資料を豊富に掲載しました。   | 16-27, 29 ページ   |
| 【情報教育】     | 生徒が情報を適切かつ主体的、積極的に活用できるように、「生かそう」などで、パソコンやインターネットを活用した学習活動例を取り上げました。また、インターネットのウェブサイトに関連した犯罪被害の防止や災害時の情報活用など、情報モラルに関連した内容も取り上げました。   | 「パソコン、インターネットの活用」35, 36, 137, 139, 145 ページなど、「情報モラル」15, 75 ページ  |
| 【食育】       | 巻頭口絵では、食育の観点から、スポーツ選手の食事の基本スタイルや試合前後の食事のとり方などを取り上げました。また、「生活習慣病の予防」では、摂食障がいを取り上げました。   | 口絵 7-8, 120-121 ページなど   |
| 【キャリア教育】   | 巻頭口絵では、スポーツや健康、安全に関わる仕事に就く人々からのメッセージを紹介しました。また、本文ページでも随所に働く人の姿を紹介し、勤労を重んずる態度を養い、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるようにしました。  | 口絵 3-6, 37, 53, 81, 141, 161 ページなど  |
| 【環境】       | 保健編 2 章では、循環型社会を推進していくことの大切さを理解し、環境の保全に寄与する態度が育成されるようにしました。さらに章末資料では地球温暖化を取り上げ、主に健康への影響について、具体的な資料とともに示しました。   | 54-59 ページなど   |
| 【人権・共生】    | 教科書全体を通して、人権に配慮した記述をしました。  | 生命の尊重（全体、28-29 ページ）、異性の尊重（10-15 ページ）、個人差や個性の尊重（7, 10, 14, 19 ページ）、HIV 感染に関する正しい理解（139 ページ）、健康の保持増進のために支え合うこと（144-145 ページ）など |

内容の選択・扱い

| 項目                           | 特に意を用いた点  | 具体例   |
|------------------------------|---|---|
| 今日的課題への対応<br>【感染症】<br>【がん教育】 | 保健編4章では、感染症について8ページ(4単位時間)で扱うとともに、章末資料では、がんや感染症の予防に関する資料を取り上げました。   | 132-139, 146, 148-149<br>ページ  |
| 学校や地域、個に応じた指導・補足的な学習         | ◆各章末に「章末資料」を設け、本文ページに関連する補充資料を豊富に掲載しました。<br>◆本文ページに設けた「生かそう」では、総合的な学習の時間や、家庭で行える学習課題を紹介しました。また、学習内容に関連し、自分の地域について調べてみる活動も多く紹介しました。<br>◆各ページ下には「保健体育クイズ」を設け、生徒の興味・関心に応じて学習を広げていくことができるようにしました。 | 28-29, 40-42, 58-59,<br>86-89, 100-106, 146-149,<br>162-163 ページ<br>39, 69, 141, 161 ページなど<br><br>全体 |
| 他教科との関連                      | ◆随所に設けた「他教科マーク」では、他教科の学習内容との関連を簡潔に示し、教科相互の関連を図り、系統的、発展的な指導を行うことができるようにしました。   | 6, 59, 75, 95, 112, 121<br>ページなど  |
| 発展的な学習内容                     | ◆発展的な学習内容は、本文の学習内容に関連した内容に厳選し、「発展マーク」をつけて他の学習内容と明確に区別しました。  | 28, 76-77, 82-83, 148,<br>162-163 ページ   |

配列・分量

| 項目 | 特に意を用いた点   | 具体例          |
|----|--|--------------|
| 配列 | ◆学習指導要領に示された内容をもとに、学年別に構成しました。   | 全体           |
| 分量 | ◆学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能となるように、構成しました。<br>◆1見開き1単位時間構成を基本とし、時間の見通しをもって学習できるようにしました。 | 全体<br><br>全体 |

表記・表現

| 項目         | 特に意を用いた点  | 具体例   |
|------------|---|---|
| 表記・表現      | ◆全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高めました。また、本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体とし、区別が付きやすいようにしました。<br>◆さし絵は、学習事項を的確に表現するとともに、生徒にとって親しみやすいものとなりました。<br>◆生徒が興味・関心をもったり、生徒の科学的な理解を促したりする写真や、鮮明なイラストを豊富に掲載しました。 | 全体<br><br>全体<br><br>巻頭・巻末口絵, 7, 12-13,<br>28, 58, 68-69, 81-83, 95<br>ページなど |
| 特別支援教育への配慮 | ◆配色及びデザインについては、色覚問題の研究者に校閲を依頼し、ユニバーサルデザインの観点から全ページの検証を行いました。<br>◆学習の流れが一目でわかるレイアウトを心がけ、キーワードの漢字には全てルビを付けました。<br>◆「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」の趣旨に則り、教科書に代えて使用できる拡大教科書を発行します。    | 全体<br><br>全体  |

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

| ※受理番号      | 学校         | 教科         | 種目   | 学年  |
|------------|------------|------------|------|-----|
| 26-70      | 中学校        | 保健体育       | 保健体育 | 1-3 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名      |      |     |
| 2 東書       | 保体 725     | 新編 新しい保健体育 |      |     |

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 知識の習得と活用 ～思考力・判断力・表現力の育成～

#### 1 学習の流れが見える紙面構成

見開き 2 ページを 1 単位時間で学習することを基本とし、「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう(活用)」「生かそう」を、学習の流れに即して配置しました。レイアウトに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的知識を確実に習得し、それを活用する力が身に付きます。

#### 【学習の流れ】

今日の学習

やってみよう

本文・資料

考えてみよう

生かそう

#### 2 知識を活用する学習活動「考えてみよう」

授業の半ばから後半に、それまでに習得した知識を活用して取り組む学習活動です。考える、話し合う、発表するなどの活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てるとともに、より確かな知識の習得にもつながります。

#### 3 学習したことを生かし、実践力を育成する「生かそう」

学習したことを自分の生活に生かしたり、生徒の興味・関心等に応じてさらに調べたりする課題例です。実践力の育成につながります。

#### 4 自己評価問題例「確認の問題」「活用の問題」

各章末に、知識の習得を確認する「確認の問題」と、知識を活用して考える「活用の問題」を設けました。

### 生徒を取り巻く今日的な課題を重視

#### 5 防災教育を重視

今日の社会状況をふまえて重視すべき内容と捉え、「防災」に関する内容を本文ページで 6 ページ、章末資料で 3 ページを配当しました。(72-77, 87-89 ページ)

#### 6 安全に関する資料を充実

「傷害の防止の章」だけでなく、全編にわたり、安全に関する資料を掲載しました。(熱中症…47 ページ, 82-83 ページ, 心肺蘇生…80-83 ページ, 自然災害…87-89 ページ, 運動・スポーツ実施時の安全…101, 103, 104, 105, 106 ページなど)



◀76 ページ/共に生きる



83 ページ/AED, 熱中症▶

## 7 「心の健康」を重視

自殺やいじめ、摂食障害、ストレス、うつ、キレやすいなど、心の健康は、中学生においても重要な課題となっています。そこで、思春期における心の健康づくりを重視し、計12ページで丁寧に扱い、実践に役立つ資料も豊富に掲載しました。(16-27 ページ)

## 8 スポーツの素晴らしさを実感

スポーツが持つさまざまな力(感動、挑戦、希望、交流、きずな、夢など)をダイナミックな紙面で伝えます。(口絵1-2)

また、スポーツの素晴らしさを伝える資料を豊富に掲載しました。(口絵3-4, 40-41, 162-163 ページなど)



口絵1-2/スポーツの力▶

## 9 新しい視点で構成した巻頭口絵 (キャリア教育・食育など)

学習指導要領に新しく入った学習内容や、今日的な課題をテーマに構成し、ダイナミックなレイアウトによって興味・関心が高まるようにしました。



◀口絵3-4/スポーツを支える人



口絵5-6/健康や安全を支える人▶

## わかりやすく使いやすい機能的な教科書

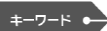
### 10 学年別構成

保健編・体育編の内容を学年ごとにまとめました。各学年の学習内容が明確になります。

### 11 自学自習にも役立つ「この教科書の使い方」

章を構成する要素や学習の流れ、マーク類の解説を示しました。教師と生徒が教科書の流れについて共通理解できるだけでなく、生徒の自学自習にも役立ちます。(口絵9-1 ページ)

### 12 学習の工夫につながる「キーワード」



1 見開き (1 単位時間) の学習のキーワードをチェック欄とともに示し、巻末にそれら全ての解説を入れました。

### 13 小・中・高の系統性を章扉に明記

学習指導要領の改訂の趣旨に示された、小・中・高等学校を通じた学習の系統性に配慮し、章扉に、関連する小学校の学習内容と高校の学習内容を明記しました。

## 14 学習のつながりを示す「他教科マーク」「リンクマーク」

**他教科** **他教科マーク**…関連する学習内容が、ほかの教科にあることを示しました。(6, 59, 75, 121 ページなど)

**リンク** **リンクマーク**…関連する保健体育の学習内容が、ほかのページにあることを示しました。(6, 14, 28, 101 ページなど)

## 15 資料の読解を支援する「ポイントマーク」 **ポイント**

「ポイント」マークを随所に入れ、資料を読み取る観点を示しました。(7, 72, 131, 142 ページなど)

## 学習への興味・関心を高める工夫

### 16 学習を深める「読み物」

学習内容に関連した読み物資料を 24 箇所に入れました。生徒の興味・関心を高め、学習内容を深めることができます。また、文章読解力の育成にもつながります。目次ではそのリストを掲載しました。(19, 39, 73, 156 ページなど)

### 17 学習を広げる「章末資料」

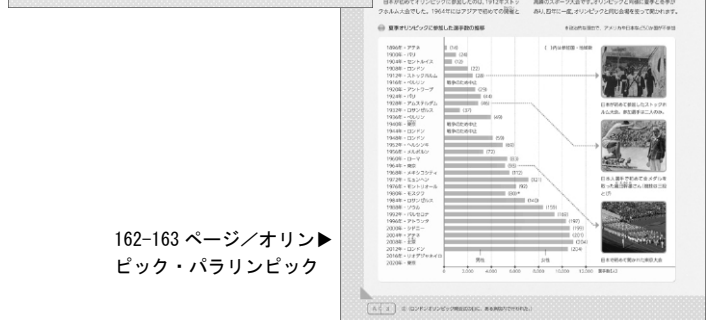
各章末に、章の学習に関連した豊富な資料を取り上げました。総合的な学習の時間における課題や、個に応じた学習にもつなげることができます。目次ではそのリストを掲載しました。(28-29, 40-42, 58-59, 86-89, 100-106, 146-149, 162-163 ページ)



▲28-29 ページ/生命の尊さ、自分の大切さ



▲88-89 ページ/さまざまな自然災害の危険と安全な避難



162-163 ページ/オリンピック・パラリンピック

### 18 楽しく解いて学べる「保健体育クイズ」

各ページ下に、保健体育クイズを設けました。授業時間以外でも教科書を開き、保健体育に関連した発展的な内容へ興味・関心を広げることができます(右ページにクイズ、次ページに答えを掲載)。

### 19 精密な人体イラスト「筋肉」「骨格」「内臓」

学習内容の科学的な理解の一助として、筋肉、骨格、内臓の精密なイラストを掲載しました。内臓の断面図や、横から見た背骨や内臓のイラストも掲載しています。(巻末口絵 10-12)

### 20 学習を導くキャラクター「コール」「クール」

学習のヒントやポイントを伝えるキャラクターを随所に登場させました。



※フランス語で、クール(cœur)は心、コール(corps)は体を意味します。



## 2 対照表

|    | 図書の構成・内容   | 学習指導要領の内容  | 該当箇所  | 配当時数 |
|----|--|--|---|------|
| 1年 | <b>保健編</b><br><b>1章 心身の機能の発達と心の健康</b><br>1. 体の発育・発達<br>2. 呼吸器・循環器の発育・発達<br>3. 生殖機能の成熟<br>4. 異性の尊重と性情報への対処<br>5. 知的機能と情意機能の発達<br>6. 社会性の発達と自己形成<br>7. 心と体の関わり<br>8. 欲求と欲求不満<br>9. ストレスへの対処と心の健康 | [保健分野] 2 内容(1)<br>3 内容の取扱い(1)～(4), (10)<br>内容(1)ア<br>内容(1)イ, 内容の取扱い(2)<br>内容(1)イ, 内容の取扱い(3)<br>内容(1)イ, 内容の取扱い(3)<br>内容(1)ウ<br>内容(1)ウ<br>内容(1)エ, 内容の取扱い(4)<br>内容(1)エ<br>内容(1)エ, 内容の取扱い(4) | <b>5-32 ページ</b><br><br>6-7 ページ<br>8-9 ページ<br>10-13 ページ<br>14-15 ページ<br>16-17 ページ<br>18-19 ページ<br>20-21 ページ<br>22-23 ページ<br>24-27 ページ      | 12   |
|    | 保健編 1 章では、「9. ストレスへの対処と心の健康」を 2 単位時間扱いとし、ストレスへの対処に関する内容を充実させました。   |  |   |      |
| 1年 | <b>体育編</b><br><b>1章 運動やスポーツの多様性</b><br>1. 運動やスポーツの必要性和楽しさ<br>2. 運動やスポーツへの多様な関わり方<br>3. 運動やスポーツの学び方   | [体育分野 第1学年及び第2学年]<br>2 内容 H 体育理論, 内容の取扱い(2)ク<br>(1)ア<br>(1)イ<br>(1)ウ   | <b>33-43 ページ</b><br><br>34-35 ページ<br>36-37 ページ<br>38-39 ページ   | 4    |
|    | 体育編 1 章では、章末資料で「スポーツライフ」を扱うなど、運動やスポーツの多様性が実感できるようにしました。  |  |   |      |
| 2年 | <b>保健編</b><br><b>2章 健康と環境</b><br>1. 環境への適応能力<br>2. 活動に適する環境<br>3. 室内の空気の衛生的管理<br>4. 飲料水の衛生的管理<br>5. 生活に伴う廃棄物の衛生的管理   | [保健分野] 2 内容(2)<br>3 内容の取扱い(1), (5), (10)<br>内容(2)ア<br>内容(2)ア<br>内容(2)イ<br>内容(2)イ<br>内容(2)ウ   | <b>45-62 ページ</b><br><br>46-47 ページ<br>48-49 ページ<br>50-51 ページ<br>52-53 ページ<br>54-57 ページ   | 7    |
|    | 保健編 2 章では、他教科などでも扱う「環境」の内容について、「環境と健康との関わり」という観点から内容を整理し、学習しやすくしました。   |  |   |      |
| 2年 | <b>保健編</b><br><b>3章 傷害の防止</b><br>1. 傷害の発生要因<br>2. 交通事故の発生要因<br>3. 交通事故の危険予測と回避<br>4. 犯罪被害の防止<br>5. 自然災害による危険<br>6. 自然災害による傷害の防止<br>7. 共に生きる（発展）<br>8. 応急手当の意義と心肺蘇生<br>9. けがの応急手当               | [保健分野] 2 内容(3)<br>3 内容の取扱い(1), (6), (10)<br>内容(3)ア<br>内容(3)ア<br>内容(3)イ<br>内容(3)イ<br>内容(3)ウ<br>内容(3)ウ<br>内容(3)ウ<br>内容(3)エ, 内容の取扱い(6)<br>内容(3)エ, 内容の取扱い(6)                                 | <b>63-92 ページ</b><br><br>64-65 ページ<br>66-67 ページ<br>68-69 ページ<br>70-71 ページ<br>72-73 ページ<br>74-75 ページ<br>76-77 ページ<br>78-83 ページ<br>84-85 ページ | 10   |
|    | 保健編 3 章では、「7. 共に生きる」を新設し、防災に関わる内容を充実させました。章末資料でも、安全に関する内容を充実させました。   |  |   |      |

|  | 図書の構成・内容   | 学習指導要領の内容   | 該当箇所  | 配当時数 |
|--|--|---|---|------|
| 2年   | <b>体育編</b><br><b>2章 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</b><br>1. 運動やスポーツが心身に及ぼす効果<br>2. 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果<br>3. 運動やスポーツの安全な行い方  | [体育分野 第1学年及び第2学年]<br>2内容 H 体育理論, 内容の取扱い(2)ク<br><br>(2)ア<br>(2)イ<br><br>(2)ウ   | <b>93-107 ページ</b><br><br>94-95 ページ<br>96-97 ページ<br><br>98-99 ページ  | 4    |
|  | 体育編 2 章では、章末資料で運動やスポーツと安全に関わる資料を多く扱い、運動やスポーツの安全な行い方が身に付くようにしました。   |   |   |      |
| 3年   | <b>保健編</b><br><b>4章 健康な生活と病気の予防</b><br>1. 健康の成り立ちと病気の発生要因<br>2. 食生活と健康<br>3. 運動と健康<br>4. 休養・睡眠と健康<br>5. 生活習慣病の予防<br>6. 喫煙の害と健康<br>7. 飲酒の害と健康<br>8. 薬物乱用の害と健康<br>9. 薬物乱用の社会への影響<br>10. 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処<br>11. 感染症の原因とその広がり方<br>12. 感染症の予防<br>13. 性感染症の予防<br>14. エイズの予防<br>15. 保健・医療機関の利用<br>16. 医薬品の利用<br>17. 個人の健康を守る社会の取り組み | [保健分野] 2 内容(4)<br>3 内容の取扱い(1), (7)～(10)<br>内容(4)ア<br>内容(4)イ, 内容の取扱い(7)<br>内容(4)イ<br>内容(4)イ, 内容の取扱い(7)<br>内容(4)イ<br>内容(4)ウ, 内容の取扱い(8)<br>内容(4)ウ, 内容の取扱い(8)<br>内容(4)ウ, 内容の取扱い(8)<br>内容(4)ウ, 内容の取扱い(8)<br>内容(4)エ<br>内容(4)エ<br>内容(4)エ, 内容の取扱い(9)<br>内容(4)エ, 内容の取扱い(9)<br>内容(4)オ<br>内容(4)オ<br>内容(4)カ | <b>109-154 ページ</b><br><br>110-111 ページ<br>112-113 ページ<br>114-115 ページ<br>116-117 ページ<br>118-121 ページ<br>122-123 ページ<br>124-125 ページ<br>126-127 ページ<br>128-129 ページ<br>130-131 ページ<br>132-133 ページ<br>134-135 ページ<br>136-137 ページ<br>138-139 ページ<br>140-141 ページ<br>142-143 ページ<br>144-145 ページ | 19   |
|  | 保健編 4 章では、「考えてみよう」を特に充実させ、「生活習慣病」「喫煙、飲酒、薬物乱用防止」、「感染症」など、生徒が直面する健康問題について、発達段階に即して主体的に考えられるようにしました。  |   |   |      |
|  | <b>体育編</b><br><b>3章 文化としてのスポーツの意義</b><br>1. 現代生活におけるスポーツの文化的意義<br>2. 国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割<br>3. 人々を結びつけるスポーツの文化的な働き  | [体育分野 第3学年]<br>2 内容 H 体育理論<br>(1)ア<br>(1)イ<br>(1)ウ  | <b>155-164 ページ</b><br><br>156-157 ページ<br>158-159 ページ<br>160-161 ページ   | 4    |
| 体育編 3 章では、章末資料で「オリンピック・パラリンピック」を扱うなど、文化としてのスポーツの意義が実感できるようにしました。 |  |   |   |      |

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

|            |            |            |      |     |
|------------|------------|------------|------|-----|
| ※受理番号      | 学 校        | 教 科        | 種 目  | 学 年 |
| 26-70      | 中学校        | 保健体育       | 保健体育 | 1-3 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名      |      |     |
| 2 東書       | 保体 725     | 新編 新しい保健体育 |      |     |

| ページ     | 記述                                 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項   |
|---------|------------------------------------|----|---|
| 28      | 章末資料 1<br>胎児を育てる母体の神秘<br>—胎盤とへその緒— | 2  | 保健分野 (1) 心身の機能の発達と心の健康<br>イ 生殖にかかわる機能の成熟  |
| 58      | 章末資料 1<br>地球温暖化による健康への影響           | 2  | 保健分野 (2) 健康と環境<br>ア 身体の環境に対する適応能力・至適範囲<br>イ 飲料水や空気の衛生的管理<br>ウ 生活に伴う廃棄物の衛生的管理  |
| 59      | 章末資料 2<br>循環型社会                    | 2  | 保健分野 (2) 健康と環境<br>ウ 生活に伴う廃棄物の衛生的管理  |
| 76-77   | 2 年 3 章<br>7 共に生きる                 | 2  | 保健分野 (3) 傷害の防止<br>ウ 自然災害による傷害の防止  |
| 82-83   | 実習資料<br>熱中症の予防と応急手当                | 2  | 保健分野 (2) 健康と環境<br>ア 身体の環境に対する適応能力・至適範囲<br>(ア) 気温の変化に対する適応能力とその限界<br>保健分野 (3) 傷害の防止<br>エ 応急手当<br>(イ) 応急手当の方法             |
| 83      | 実習資料<br>AED<br>(自動対外式除細動器)         | 2  | 保健分野 (3) 傷害の防止<br>エ 応急手当<br>(イ) 応急手当の方法   |
| 88-89   | 章末資料 3<br>さまざまな自然災害の危険と安全な避難       | 2  | 保健分野 (3) 傷害の防止<br>ウ 自然災害による傷害の防止  |
| 146     | 章末資料 1<br>がんについてもっと知ろう             | 2  | 保健分野 (4) 健康な生活と疾病の予防<br>ア 健康の成り立ちと疾病の発生要因<br>イ 生活行動・生活習慣と健康<br>ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康<br>オ 保健・医療機関や医薬品の有効利用<br>カ 個人の健康を守る社会の取組 |
| 148     | 章末資料 3<br>免疫と予防接種                  | 2  | 保健分野 (4) 健康な生活と疾病の予防<br>エ 感染症の予防<br>(ア) 感染症の原因とその予防   |
| 162-163 | 章末資料 1<br>オリンピック・パラリンピック           | 2  | 体育分野 H 体育理論<br>[第3学年]<br>3 文化としてのスポーツの意義<br>イ 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割   |

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| 164 | 体育編・3章<br>活用の問題 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> | 2 | 体育分野 H 体育理論<br>[第3学年]<br>3 文化としてのスポーツの意義<br>イ 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割 |
|-----|---|---|---|

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 14)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容